

今、政府が進めている社会保障「改革」 その中身は…

70歳～74歳

高齢者の
窓口負担は
2倍に!?



薬代も?
高くなる?

かぜ薬・しつぷ薬などの
患者負担引き上げ

さらに
消費税が
10%以上に

窓口負担に?
100円上乘せ?

通院するたびに負担

患者さんに
これ以上の負担を求める
「改革」には反対です!

私たちは「いつでも安心して受けられる医療」の
実現を求めています。



安心の医療をつくる。患者窓口負担の大幅軽減を

え〜っ!
負担が増える
のは困る…

君たちのための「社
会保障と税の一体
改革」なんだよ。ま
あ、負担は増えるん
だけだね。



安心して受けられる
医療の実現を

署名にご協力ください

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

安心して受けられる医療の 実現を求める請願

(新たな患者負担増反対、患者負担の
大幅軽減と消費税増税撤回を求める)

請願趣旨

日本の医療費は、国際的には先進34カ国中24位という低さです。全国で医師や看護師不足から過重・過密労働が問題となり、病院や診療所の経営困難から標榜科や医院の閉鎖、救急医療の遅れなど、地域医療の崩壊がますます深刻さを増しています。

東日本大震災では、医師数がもっとも少ない、経済的な理由で受診が制限されるなど医療崩壊が苛酷な地域を巨大災害が襲いました。その後も医療機関復興への国や行政の支援は弱く、被災者の命と健康を脅かしています。また、国民皆保険と言いながら、「お金がないために医療が受けられない」という悲しい状態が、全国に広がっています。

しかし、政府がすすめている「社会保障・税一体改革」は、高い患者負担をさらに引き上げる「追加定額負担」をはじめ、少額の医療費を「保険から外す」、70歳から74歳の窓口負担を1割から2割へと倍にするなど医療改悪をさらに進めるものです。しかも消費税を当面2倍に引き上げて社会保障のために使うとしていますが、実際には法人税を減税するための増税です。

戦後最大の震災と原発事故という未曾有の事態のもとで、被災者の生活再建を最優先にした復興のためにも、安心して受けられる医療や家計をあたためることが必要です。そのため、以下の事項を政府に要望します。

請願事項

- 一、新たな患者負担増計画は撤回してください
 - 通院のたびに追加定額負担させる計画を撤回してください。
 - 医薬品への新たな患者負担増や保険外しはやめてください。
 - 70～74歳の窓口負担を2割に引き上げる倍増計画をやめてください。
- 一、患者窓口負担を大幅に軽減してください
 - 当面、患者窓口負担を、中学卒業までの子どもと75歳以上の高齢者は無料に、現役世代は2割としてください。
- 一、消費税の増税は行わないでください

氏名	住所

※この個人情報は請願以外には使用しません。

〈取り扱い医療機関、団体〉